

特集 ご存じですか？

とよやまオレンジプロジェクト

認知症は誰にでも起こりうる身近な病気です。豊山町では、認知症の方やそのご家族が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、地域全体で認知症への理解を深める「とよやまオレンジプロジェクト」に取り組んでいます。このプロジェクトでは認知症への理解を深めていただく、さまざまな活動を行っています。



認知症疾患医療センター（済衆館病院）

・県が設置する専門の医療機関で、保健・医療・介護の関係機関と連携しながら、認知症かどうかを見極めるための鑑別診断や専門医療相談、医療機関等の紹介、問題行動などへの対応に関する相談を行っています。

専門的な診断と治療

早期発見・早期対応が大切

普段の生活で「何度も同じ質問をしたり、確認したりするようになった」「趣味への興味がなくなった」「新しいことを覚えようとしなくなった」などがある場合に認知症の一手手前の「MCI」（軽度認知障害）かもしれません。そのため、大切なのは「もしかして認知症かも？」と感じる場面の段階で早めに相談することです。一人で悩まず、医療機関や地域包括支援センター「あおぞら」などに相談しましょう。小さなことでも気軽に相談することで、不安の解消や早期発見・早期治療につながります。

気軽に集える憩いの場

認知症カフェ

認知症は高齢者やそのご家族だけの問題ではなく、地域全体で理解を深めていくことが大切です。

「認知症カフェ」は、認知症の方やそのご家族、地域の方が気軽に集まり、相談や交流ができる場所です。ご家族の介護負担を和らげることも目的としています。

開催情報は広報やSNSでお知らせしています。どなたでも参加できますので、ぜひお立ち寄りください。

認知症サポーターが活躍

正しい知識と理解を地域に広げて

認知症サポーター養成講座を修了した方々は、これまで延べ5000名を超えました。サポーターの方は、地域の中で認知症当事者の方やその家族に対して見守るなどの活動をしています。

たとえば、犬の散歩をしながら地域を見守る「わんわんパトロール隊」や気軽に参加し相談や情報交換できる憩いの場「認知症カフェ」の一員として参加しています。

また、買い物や会計時に困っている方を支援するお店「認知症の人にやさしいお店」など活躍の場があります。こうした認知症本人を中心とした地域で支える仕組み「チームオレンジ」が今後広がっていくことを目指しています。



9月は「認知症月間」です

日本では9月21日を「認知症の日」とし、9月を「認知症月間」と定めています。

豊山町では、一人でも多くの方に認知症への理解を深めていただけるよう、さまざまな取組を行います。

■豊山町役場ロビー

- ・パネル展示 9月1日（月）～30日（火）
- ・認知症カフェ ①9月9日（火）13時30分～15時30分
②9月25日（木）13時30分～15時30分
- ・認知症サポーター養成講座 9月10日（水）13時30分～ ※要申込

■社会教育センター図書室

- ・図書特設コーナー 9月2日（火）～28日（日）

